

# ぼくたちにお昼ごはん おごってくださいませんか？ 2014年度 活動報告書

特定非営利活動法人IFE



駐日ベナン共和国特命全権大使 ゾマホンから皆様へ



このプロジェクトにご協力頂いている多くの日本人の皆様、そして外国人の皆様。

北野武さんのアイデアで2009年に始まったこのプロジェクトは、おかげさまで、5年目を迎えました。今まで続けることが出来ているのも、皆様のご協力のおかげです。IFEの創設者として、駐日ベナン共和国大使館の特命全権大使として、そしてベナン国民の代表として、心より御礼を申し上げます。

このプロジェクトと、大統領が実施した小学校無料化の影響により、今まで家計を助けるために畑仕事をしていた子供が学校に通い勉強し始めました。先日、ベナンの北部に現地調査に行ったところ、ある子供が、「休日でも学校に行きたい」と言いました。何故かと聞くと、「給食が食べれるから、勉強も頑張れる」と嬉しそうに話しておりました。グラウンドで遊ぶ子供たちの声も、以前よりも大きく、明るくなりました。

このような人間愛に基づいた、日本人の志を世界に示すことは、世界の平和に良い影響を与えると確信しています。

皆様のご健康とお幸せを祈っております。  
これからも、給食プロジェクトを宜しくお願い致します。

駐日ベナン共和国大使館 特命全権大使 ゾマホン D.C. ルフィン



ぼくたちにお昼ごはん おごってくださいませんか？

## 2014年度 活動報告書

特定非営利活動法人IFE

給食会員の皆様

拝啓

日頃より「ぼくたちにお昼ごはん おごってくださいませんか？」プロジェクトにご賛同下さり、誠にありがとうございます。

本プロジェクトもお陰様で2009年のスタートから、5年目を迎えました。これも皆様方のご支援とご愛顧によるものと、心から感謝いたしております。

また事務局の一員として、この活動に少しでもお役立ちできるよう、今後も活動を継続して参ります。

どうか今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

それでは、2014年度の活動報告をご覧ください。

敬具

「ぼくたちにお昼ごはんおごってくださいませんか？」事務局

プロジェクト履歴	日付	金額
第1回目送金	2009/5/8	3,660,000
第2回目送金	2009/9/24	2,700,000
第3回目送金	2010/4/28	4,340,000
第4回目送金	2010/9/15	1,500,000
第5回目送金	2011/2/23	1,550,000
第6回目送金	2011/3/23	2,000,000
第7回目送金	2011/4/1	800,000
第8回目送金	2011/9/7	580,000
第9回目送金	2011/10/7	700,000
第10回目送金	2011/12/20	3,100,000
第11回目送金	2012/1/4	500,000
第12回目送金	2012/1/31	1,500,000
第13回目送金	2012/4/2	1,360,000
第14回目送金	2012/5/1	740,000
第15回目送金	2012/9/28	1,000,000
第16回目送金	2012/12/21	1,764,000
第17回目送金	2013/4/12	1,254,053
第18回目送金	2013/9/30	3,276,306
ご寄付の総額		¥32,324,359



— ぼくたちにお昼ごはん おごってくれないか？

## 2014年度 活動報告書～その1～

特定非営利活動法人IFE

### ●日本に行けるルートを開拓する

給食をおごってもらっている日本人に会いたい。その人がどんな国に住んでいるのか知りたい。いま給食をおごってもらっている子供たちが抱いている夢です。

でも現実には厳しい。ベナン共和国では今でも「日本に行くより天国に行きやすい。」とされています。意味としては、正直に生きていけば天国に行けるけど、日本に行くには、正直さだけではなく、お金もないといけない。しかもそのお金は一生働いても手に入るお金ではない。それに加えてお金があったとしても、そもそも日本の大学に留学できるルートがない。

大学に通っている、もしくは通ったことがある皆さん、自分の大学にアフリカからの留学生は何人いるでしょうか。恐らくあまり見たことがないのではないのでしょうか。

そのために給食プロジェクトと並行して、日本の大学に留学できる仕組みを作ってきました。それは長い長い道のりでした。最初は1人の留学生を受け入れていただくことから始め、信頼関係を蓄積し、最近ではのべ40名ほどの留学生が来日できるまでになりました。また昨年度来日したベナン共和国大統領が留学生と会い、これからの人材育成について話し合いました。これによって、現在給食をおごってもらっている子供たちが将来、来日し、皆さんに会えるのも夢ではなくなりました。



(左)  
真ん中の青い  
スーツ姿が  
ヤイ・ボニ  
大統領。

(下)  
現在、日本の大  
学に留学してい  
る学生たち





# ぼくたちにお昼ごはん おごってくださいませんか？ 2014年度 活動報告書 ~その2~

特定非営利活動法人IFE



給食を通して衛生面の教育をする。

現地では給食を提供することは、ただ栄養を補うことだけ目的ではありません。ご飯を食べる前にしっかり手を洗う。ご飯を食べ終わったらみんなで食器を洗う。そういった衛生面についてももしっかり教育することを心がけています。不衛生な水を飲んで、小さな命が消えてしまうことが多い、ベナンにおいて、給食を提供することは、生きるための教育に直結します。



地元で収穫できるもので、献立を作る。

ある機関では子供たちに栄養補助食品を配ったりしています。でも我々が目指すところは地元で収穫できる農産物を子供たちに提供することです。トウモロコシが採れる地域はトウモロコシをベースにした給食。ヤムイモがとれる地域はヤムイモを使った給食を提供しています。これによって地元の農家に皆さんの給食費が届くようにしています。





# ぼくたちにお昼ごはん おごってくれないませんか？

## 2014年度 活動報告書 ~その3~

特定非営利活動法人IFE



給食が継続して提供できるように職員会議や村の長老と話し合っています。

昨年度の報告書でも書きましたが、給食を提供することはベナン共和国にとっても、これまでの歴史にはないことです。その為にいろいろな課題もでてきます。それを一つ一つ解決し、継続して給食が提供できるようにしています。下の写真は小学校の先生、村人が集まって、職員会議をしています。この時の議題は給食を提供することによって、急激に増えた児童に対して、学校としてどのような対応をするかについては話し合いました。



(左)  
職員会議の様子。  
(コロボロル村 たけし小学校にて)  
左奥の男性がたけし小学校の校長先生。周囲は先生方。1時間以上、白熱した議論が続きました。

(下)  
たけし小学校の職員と地元の人たち。給食を提供するために村をあげて取組んでいます。





# ぼくたちにお昼ごはん おごってくれないませんか？

## 2014年度 活動報告書 ~その4~

特定非営利活動法人IFE

### 終わりに

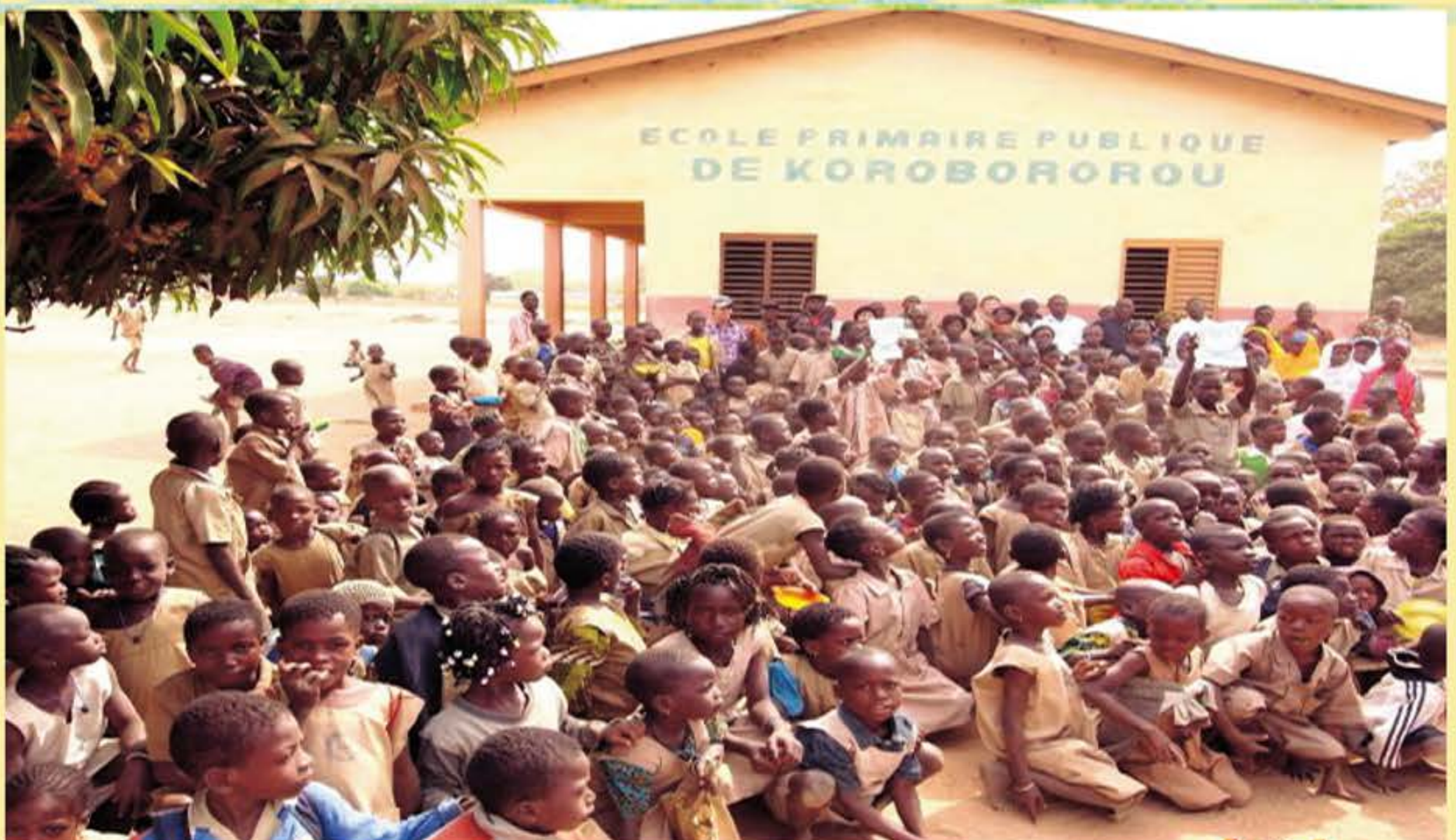
給食プロジェクトも5年目になりました。給食を提供している村人たちは少しずつ協力的になってきました。そして給食を提供することが習慣化しつつあります。

またこれまでの地道な取組がベナン共和国大統領まで届くまでになりました。これにより給食を食べていた子供たちが日本に留学できるようになる世界が一気に加速しています。

皆様には現地の様子をお届けする機会が少ないため、私たち事務局としては、心苦しく感じているのも正直な気持ちです。しかし、皆さんの支援はこれまで同様、全額給食費として提供しています。報告書をまとめるための費用や、ホームページを作成する費用はボランティアという形で維持しております。

短期間で大きな変化をもたらすものは、その分違う形で大きな影響があります。給食プロジェクトは現地の村社会の仕組みを崩壊させないように、現地の実態にあった発展を心がけています。そして将来、現地が日本からの支援がなくても自立できるよう、そのための仕組みづくりに勤しんでおります。

併せて日本-ベナンの人的交流の道も開けてきつつある現在、今年度もしっかり給食プロジェクトを継続していく所存です。皆様、本プロジェクトに対して今年度もご支援の程、よろしくお願い申し上げます。





# ぼくたちにお昼ごはん おごってくださいませんか？ 2014年度 活動報告書 ～動画配信～

特定非営利活動法人I-E

You Tube

ぼくたちにお昼ごはんおごってくださいませんか？

検 索

昨年度に引き続き、Youtubeでベナン共和国の給食プロジェクトの様子をアップしています。  
ぜひインターネットで上記の言葉を入力し、検索してみてください。

動画があり



動画があり



## いのうえ小学校の給食の様子

### ●校長先生へのインタビュー

- 日本の皆さんに感謝したい。給食プロジェクトのお蔭で、遠い村からも子どもたちが小学校に通うようになった。（就学率が上がった。）
- 通常は7時に登校して、すぐに掃除から始めるんだ。
- 将来、ベナンの発展のために頑張ってくれる子供たちを育てたい。

### ●給食スタッフにインタビュー

- 子供たちには手作りで温かいものを食べさせてあげたい。
- 辛いソースにしているのは、髄膜炎予防にもつながる。
- 子供たちの健康の事も考えた献立づくりをするのよ。



# 継続手続きのご案内

特定非営利活動法人IFE

## 1 お振込み

みずほ銀行 八王子支店 普通預金 1191043  
特定非営利活動法人 IFE きたの基金  
カナ名義 : トクヒ) IFE キタノキキン

### 手続き後のご連絡について

お振込名義だけでは、個人様を特定できない場合もございますので、お振込後にご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。

### 領収書について

経費削減のため、領収書が必要な方のみに、事務局から領収書を発送いたします。必要な方は、ご連絡下さい。

### 各種変更について

初回のお申込時から住所等、変更がある場合は、変更内容をご連絡下さい。

## 2 ご連絡

ご本人様確認をさせていただきますので、メールか同封のハガキにて、**お振込日**、**お名前**、**お振込名義**をご連絡下さい。なお、返信が遅くなる場合もございますが、何卒ご了承下さい。

※生徒1名につき10,000円のお振込をお願いします。  
(お振込手数料はご負担下さい。)

※恐縮ですが、郵便での現金送付はお控え下さい。

※勝手ながら、お振込み期限を7月28日(月)とさせていただきます。

※当事務局宛のご連絡はメールかハガキにてお願いします。

※経費節減のため、可能な限り、報告はメールにて連絡させて頂きたいと存じます。  
メールアドレスの変更等ございましたら [lunch@npo-ife.jp](mailto:lunch@npo-ife.jp) までご連絡ください。

事務局はボランティアで運営しております。  
申し訳ございませんが、お電話でのご連絡はご遠慮頂けますよう、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。  
会員様の個人情報には責任をもって、管理しております。



特定非営利活動法人IFE

# NPO法人IFE

Non-Profit Organization IFE

〒193-0931

東京都八王子市台町2丁目12番16号

E-mail : [lunch@npo-ife.jp](mailto:lunch@npo-ife.jp)

Web : <http://npo-ife.jp/lunch/>